

事務事業名	雲南市校長協議会補助事業		所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	教育総務・給食グループ	課長名	小山 伸
施策名		(23) 学校教育の充実	担当者名	藤原 裕美	電話番号(内線)	0854-40-1071 3641
基本事業名		(067) 教育内容の充実	予算科目	会計 款 項 目 中事業	雲南市校長協議会補助金	

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(16年度~) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度(年度~年度)	雲南市学校教育活動事業の推進と雲南市学校教育の資質の向上をめざす雲南市校長協議会に雲南市より補助金を交付。 (協議会での事業内容) 校長協議会事業、教育研究会事業、中学校体育連盟事業、総合的な学習の時間事業ほか全21事業。	平成16年11月の合併に伴い、17年度の補助金予算要求の積算に向けて、16年度中に校長会において補助金のあり方を検討してもらった。その結果、旧町村の各補助金を整理統合し、新たな補助金名称で交付することとした。

(2) トータルコスト

① 事業費の内訳(概要)	雲南市学校教育活動事業	6,800千円	雲南市立学校自主企画事業	3,400千円				
	② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)							
補助金交付申請書の受理~交付決定通知~補助金の概算払い~実績報告書の受理~実績報告書の内容点検~補助金確定通知~補助金の精算								
事業費	国庫支出金	千円	県支出金	千円				
	地方債	千円	その他	千円				
	一般財源	千円	事業費計(A)	千円				
人件費	正規職員従事人数	人	延べ業務時間	時間				
	人件費計(B)	千円	トータルコスト(A)+(B)	千円				
			21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
			7,000	7,300	10,200	9,406	9,400	
			1	1	1	1	1	
			5	5	10	10	10	
			19	19	39	0	0	
			7,019	7,319	10,239	9,406	9,400	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	校長協議会での実施事業に対する補助金交付。 学校「夢」プラン事業に対する補助金交付。							
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	校長協議会での実施事業に対する補助金交付。 学校「夢」プラン事業に対する補助金交付。							
手段	⑤ 活動指標	ア 補助金交付件数	件	2	1	2	2	2	

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	雲南市校長協議会	⑥ 対象指標	ア 雲南市校長協議会会員数	人	27	27	26	26	25	
③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	本市の学校教育の振興、また雲南市校長協議会事業の連携強化及び資質の向上を図る。	⑦ 成果指標	ア 実施事業件数	件	21	20	21	21	21	
			イ 児童生徒総数	人	3441	3347	3265	3202	3200	
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	生きる力を身につける。 →生きる力とは?・基礎基本(知・徳・体の面)を身につけて、課題を見つけ、判断する能力。	⑧ 上位成果指標	ア 「将来かなえてみたい夢がある」と答えた児童生徒の割合	%	小58.6 中37.3	小56.9 中44.5	小62.5 中42.1	小63.0 中43.0	小64.0 中43.0	小64.0 中43.0
			イ 不登校児童生徒の割合	%	小0.55 中3.20	小0.45 中3.37	小0.33 中3.69	小0.30 中3.00	小0.30 中2.50	小0.30 中2.00

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
開始時期と変更になった事項・・・18年度まで校長協議会の管理する事業それぞれに補助金を交付していたが、事務量の節減を図り、19年度からは新たな補助金交付要綱を制定し、校長協議会へ一括して交付している。	毎年度、補助金対象の事業内容について聞き取り調査。	特になし。

事務事業名	雲南市校長協議会補助事業	所属部	教育委員会	所属課	教育総務課
-------	--------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 校長協議会への助成は、学校教育の振興を図ることにつながる。「ふるさとを愛し、心豊かでたくましく、未来を切り拓くひとになる」ためには、市内学校が連携して各事業を実施することは大変有効であり、これを取りまとめる校長協議会へ助成することは政策体系との整合性が結びついているといえる。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 市内の小中学校の事業であり、市が助成することは妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 校長協議会へ助成することで、各事業の実施が可能となり、間接的に児童生徒の教育の充実となり、対象・意図は妥当である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 交付した補助金により、校長協議会が進める学校教育の質の向上につながる事業の開催を可能にしている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 廃止、休止することで事業の実施が困難となり、学校教育の振興を妨げることとなり、影響がある。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ (4) 事務事業の環境変化・住民意見等にも記述したとおり、これまでの類似事業を統合したものであり、これ以上の統合の余地はない。 <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】↷
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 雲南市からの必要最小限の補助金のみで事業を実施しており、その他の収入源はないため、削減の余地はない。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 補助金申請受付から確定までの事務を1人以内で処理しており、削減の余地は少ないものと思われる。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 市内小中学校の全ての校長で組織されている団体に対しての助成であり、公平・公正である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	申請受付後、事業内容を点検確認し、遅滞なく支払い、適切に事務処理を行った。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし。																							